



『私の考え方を変えた日本』

エルデネー バトルジ（モンゴル）

今、世界に高いビルやきれいな所などがある、よく発展した国がたくさんあります。その中でも、日本は自分の面白くてとくしゅな習慣と歴史を持って発展している国だと思いますから、日本をもっとふかく知りたと思いました。また、私が勉強したい大学もたくさんありましたから、日本へ行こうと決断しました。それからすぐ日本語の勉強を始めて今年4月に日本にまいりました。

そして今、日本へ行こうと決断してから1年が過ぎました。1年前の日本語の勉強を始めた時は、外国で勉強しながら生活することが出来るか少し不安でした。今は日本にいますが、このように大勢の方の前で日本語でお話することが出来てとても嬉しいです。

私は日本で生活をして日本と日本人から色々な事を学びました。日本人はいつでも誰かにめいわくをかけないように生活をしている事は一番素晴らしいと思います。日本人はそれをどこでも守ります。例えば、エスカレーターを使う時、急いで上っている誰かのじゃまにならないように皆左側に立って止まります。そして電車とバスの中でも大きい声で話しません。他の人達は仕事が終わって疲れて帰っている時なので、その方がいいと思います。誰でも皆自分のいい生活のために急いで頑張っているから、自分だけじゃなく他の人達もそんけいするのはとてもいい事です。

そして、日本はごみを分別して捨てます。それも日本人の将来の子供達の生活にめいわくをかけないようにしているいい事だと思います。

私は何をする時でも、心のそこから他の人達と自分達の将来のために頑張るという日本人のいいせいかくを見て、日本はこのように発展したという事が分かりました。

私は日本が日本人の行動と努力の結果によって発展して来たのを見て、行動と努力は生活のための大事な教育だという事が理解出来ました。

こちらに私と同じ外国から来た大勢の方がいらっしゃいます。私達も日本という素晴らしい国からたくさんの事を学んで獲得した知識を自分の母国で使って、美しい世界と一緒に作りましょう。どうもありがとうございました。



『日本に来て感じた事』

スタシュク テチアナ（ウクライナ）

はじめまして、スタシュク・テチアナと申します。ウクライナからまいりました。

日本へ来たのは去年の11月です。日本でくらしはじめてからめずらしくて、おもしろいと感じた事について話したいと思います。まず、初めに感じた事は日本人と自然のつながりです。日本で たまったストレスを はっさんするとなると、やっぱりおんせんでしょう。おんせんに入る前は どうして日本人はおんせんが好きなのかよく分かりませんでした。入ったとたん すぐに分かりました。あついお湯につかりながら、つめたいくきをすいこむと 体も心もリラックスできます。また、おんせんのあたたかさは 土のおくふかくからきますから、その時に自然とのつながりをよく感じます。ウクライナにも ややにたようなものがありますが、自然とはかんけいがありません。それは“バーニャ”と言います。バーニャとは あつい空気にみたされた部屋のことです。ベンチに10分ぐらいすわった後、すぐ つめたい水が入ったプールに入ることになっています。

二つ目に感じた事は日本のテレビです。私にとってめずらしいものは 番組のじまくです。たとえば、そのセリフが おこっている時に言われたら、赤くて、シャープなしょうたいで、かわいく言われたら、ぶんしょうの最後にハートがつけられています。ですから、日本のテレビ番組では かんじょうが文字によって しめされているので、テレビで見たしょうほうをりかいするのはかんたんだと思います。ウクライナにも もちろんお笑い番組はありますが、じまくのかわりにトムとジェリーのような面白い音が使われています。

最後はやはり日本人の親切さです。はじめて日本に来てから、問題が色々ありましたが、まよった時も、スーツケースをなくしてしまった時も、困るたびに、いつもたすけをもらいました。色々けいけんして、私はおどろくとともに、日本はとてもしんらいできる国なんだと思いました。

まだまだ日本については分からない事ばかりですが、これからもっと日本について知っていただけたらいいなと思っています。

ごせいちょうありがとうございました。



『子育て・文化の違いについて』

林玉潔&王元&Qくん 5歳（中国）

林・王・Q：こんにちは！

林：林です

王：王です。

Q：Qです。

林：家族です。

林：日本に來たり歸ったりして、合計およそ5年ぐらい経ちました。

王：約7年でしょう。

Q：多分、4年です。

林：今日はここで…

王：漫才をやらせていただきます。

林：えっ!?

王：あっ、違う。スピーチをさせていただきます。

林：さて、まず、中国と日本の病院についての違いからお話させていただきます。

Q：病院に行きたくない…

林：子供の看病は、やっぱり日本のほうがしやすいと思います。中国の場合、みんな大きな病院に行きたがって、結局病院に行くとかかなり待つ時間が長いです。

王：待っている間に、健康な人でも病人になってしまうほど長いですね。

林：そうなんですよ。覚えている？ Qが初めて中国の病院に行った時のこと。

王：覚えているよ。Qはずっととんでもない大声で泣いて止まらなくて、隣のおばさんは「何という母親だ！よくも子供をここまで泣かせたなあ〜」と…

林：それは覚えなくていいです！

Q：全然覚えていない。

林：とにかく、死ぬ病氣にならない限り二度とと子供を病院に連れて行きたくないです。日本は小児科のクリニックがたくさんあって、一般的な病氣なら、すぐ看病できて、ひどくならないうちに治せるというところが、とても素晴らしいと考えています。

王：そうだね。でも、夜や日曜日などに、病院ほとんど休むのも結構不便ですけどね…

林：それは確かにありますね。中国の場合、銀行も大きな病院も大体休日もやっています。日本だと、夜と休日になったら、わずかの当番の病院や救急病院しかやっていないです。最初日本に來たとき、夜私は急にアレルギーが発症して、相当大変でした。

王：そうでしたよね。痒みを我慢しながら自転車で何キロも走って、病院についたら、二、三千も多く払うのに、1時間ほど待った結果が塗り薬1瓶だけでした。かわいそうだし

たね。

林：あなた、日本は、そんなことばかりではなく、他にもいいところがあるでしょう？

王：もちろんたくさんありますよ！

林：例えば？

王：トイレです！

林：何？下品ですね〜。あんな臭い所、よくもこんなところでは話せないわ。

王：皆さん、注目してください。これは中国人がトイレに対する極普通の考え方なんです。

林：え？ 違いますか？

王：違いますよ。日本のトイレはきれいでしょう。駅や公園以外のところには、全然臭くないトイレもたくさんあるでしょう？ 日本のトイレは基本、中国の想像を超えるくらいきれいですよ！

林：きれいはいきれいなんだけど、そこまではちょっと大げさでしょう。

王：いいえ。ちゃんと証明できます。

林：じゃあ、証明して。

王：トイレで食事することなど、中国人として想像できますか？

林：ウゲッ！そんなの、いくらきれいだと言ってもトイレで食事するなんて想像できません。

王：でも、日本人ではトイレで食事する人がいるんですよ！

林：えええええー！？

王：Google で「トイレ お弁当」で検索すればたくさん結果が出てきますよ。なんか、ひとりで食べるのが友達いないとバレルからトイレに逃げて食べる人がいて、「便所飯」という言葉まであります。

林：（スマホ検索中）本当だ…

王：これまでは日本のトイレの良いところですが、日本のトイレについて、迷うところもあります。

林：なんですか？

王：男子トイレで用を足している人がいるのにも関わらず、女性の清掃員が平気で入ってきて、挨拶までしてくれることです。

林：確かに、それはありますね。

Q：ママも男子トイレに詳しいですね。

林：違う！パパから聞いたからです。

王：ここで、皆さんにもお伺いしたいんですが、こっちで用を足している最中に、後ろから「こんにちば」あるいは「失礼します」と親切に挨拶されたら、全く返事しないと無視しているようなので失礼かなあと思いますけれども…もし返事をするとしたら、どんな返事が良いでしょうか？

以上です。ご清聴ありがとうございました。



『ベトナムから日本に来て、頑張ったこと』

グエン タン ディエン（ベトナム）

私は、ディエンと申します。ベトナムから、実習生として、日本に来ました。ある建築会社で、大工をしています。ベトナムでは、軍隊に入っていたことがあります。

私の話は、「ベトナムから日本に来て、頑張ったこと」です。

まず、食事です。

ベトナムでの生活は、「お母さん、腹がへった。」と言えば、直ぐ作ってくれました。軍隊では、食事係がいて、一度も当番をやったことはありません。

食事など生活の基本を、家、軍隊では考えなくても、良かったのです。

日本では、そういう訳には、行きません。何でも自分で考え、生活する、本当の自立した生活が、必要になりました。

日本に来る前 3、4 回、自分で作る練習をしました。味も良かったです。でも、日本でやってみると、まずくて我慢して食べました。今は、うまく作れるようになりました。

次は、仕事のことで。

最初は早く覚えようと、仕事場で道具の名前などを、歩き回って勉強しました。とても疲れていても、昼休みは寝ませんでした。仕事で、道具の名前などを間違った時、親方に叱られ、ストレスがいっぱい溜まりました。

仕事が終わって、家に帰り、鏡の前に立ちました。「自分は、何のために日本に来たのだ。自分の正体のため、家族のためじゃないか。だから、諦めるのはダメだ。人生は、たくさんの挑戦なんだ。これは小さいことなんだ。」と、自分に言いました。

最後は、言葉です。

日本語はメッチャ難しいです。平仮名、カタカナ、漢字の 3 つあります。覚えるのが大変です。ベトナムで、ちょっと勉強しましたが、日本語学校には行っていませんでした。土曜日の「アジアの会」の先生のもとで、日本語能力N3 級を中心に勉強しました。日本語の勉強も、自分で出来るようになりました。お陰様で、この 7 月、3 級に合格出来ました。4 級、3 級と続けて失敗していたので、メッチャ嬉しかったです。

これからも、色々なことがあっても、「何のため。」と、鏡の前で誓ったことを思い出し、頑張って行きたいと思います。



『日中両国の生活常識文化の違いについて』

劉 世佳（中国）

皆様、こんにちは。中国の上海出身の劉世佳と申します。6年前日本に参りました。現在、日本で暮らしながら仕事をしています。今までの生活で生活習慣や考え方など違うところがよく気づきましたので、本日、「日中両国の生活習慣文化の違い」というテーマでスピーチしていきたいと思います。

今回二点について詳しく話させていただきます。

一点目は割り勘のことです。中国では「割り勘」はありません。友達同士との食事やデート、ビジネス関係の会食、パーティーといった席では、普通は食事に誘った人がその場にいる人の分すべて支払うのが常識です。日本では誰かにごちそうになったら、その場で「ご馳走様でした」と感謝の気持ちを述べ、次にあったときにも「この前はありがとうございました」とお礼を言いますが、中国では言葉ではなく、今度は自分をご馳走してあげることで感謝の気持ちを表します。これは中国人の貸し借りの文化からくるものです。ただし、最近では若い人を中心に割り勘を取り入れる人も増えています。

二点目は日本と中国の返事文化です。日本語では「はい」という返事は1回と決まっています。「はい、はい」と2回言おうものなら、「“はい”は1回でよい」と直されます。「はい、はい、はい」と3回も言おうものなら、一遍で心証が悪くなります。この野郎、人を馬鹿にしているのかと思われる危険性があります。しかし、中国語の「はい」は「是」という発音です。中国では“是（日本語の はい という1回返事です）”と1回言うよりも、“是、是（日本語のはい、はいといく2回返事です）”と2回繰り返したほうがより従順な感じがあることです。さらに、“是、是、是（日本語のはい、はい、はいという3回返事です）”という3回言えば、あなたに完全に服従しますという意味の表れです。中国語では“是”という承諾の返事は早口でたくさん繰り返して言った方が丁寧です。しかし、日本から見れば、「礼儀作法がなってない」となっていました。

ご清聴ありがとうございました。



『ミネソタの四季』

イングリッシュ フィリップ (アメリカ)

東京とアメリカのミネソタ州は四季があります。

かなり同じようなものの、季節により、違うところもあります。

はっきりと同じなのは、秋は気温が涼しくなって来て、春は気温が温かくなって来ます。

だが、冬と夏は違います。

もちろん、冬は寒くて夏は蒸し暑いですが、冬には東京よりミネソタが寒いです。それに対し、夏は東京のほうが蒸し暑いです。

ミネソタの冬はとても寒いもとより、期間も長いです。気温が華氏 0 度以下に下がっています。10 月や 11 月～3 月や 4 月くらい、時々 5 月でも、雪が降ります。

また、量も多く雪だらけです。

その上、渋滞も大変になります。

なんとなく雪が降っても、そのまま学校へいかなくてはいけません。

3 月とか 4 月、東京で桜の花が咲いている時、確か、ミネソタは雪だらけかもしれません。夏ははっきり両方が蒸し暑い反面、ミネソタのほうがちょっと涼しいです。

なぜなら、湖が多いからです。だいたい 10,000 湖があります。

これのおかげで、夜のうちに、涼しくなって来ます。

東京の冬は寒いですけれど、少なくとも、ミネソタよりかなり暖かいです。さらに、あまり雪が降らないのです。

全体的に、東京かミネソタはともかく秋が好きな季節です。

暑すぎなくて寒すぎないから、優しい季節ですね。



『台風 19 号 — 私の避難所体験 —』

張鉄梅（中国）

皆さん、こんにちは、私は張鉄梅です。今日は過ぎ去ったばかりの台風 19 号での避難所体験をお話したいと思います。

私は日本が自然災害の国であることは以前から知っていましたが、日本人の防災意識が強いこと、そして国の防災機関が災害を早い段階で予知し、それを国民に知らせるとともに、防災計画を立て、効率的に災害救援を実施して、被害を最小限に留めているということがよくわかりました。

今回の大型台風のときもそうでした。

そして、この体験で、私が一番言いたいのは、まず「感謝」と言うことです。それは日本政府、東京都と葛飾区の各地区の町会があらゆる救済措置を実施したことです。2つめは自然は非常ですが、人間は自然の前で、団結して行動すれば、人間の知恵と力で最大限に自然に打ち勝つだろうと言うことです。

つぎに具体的に今回の台風のことをお話しします。

たとえば、予報で言われたとおり、まずひつようなものを準備して、あとは広報車で放送を聞いて、最寄りの避難所に避難することにしました。

私たちの避難所の小学校に着いたら、町会の人 안전한教室に案内してくださって、あたたかいもうふをもらって、近くの人と話をしました。おかげで、不安や心配がすべて消えました。

まだ台風は来るとはいますが、被害がないことを願っています。

ご清聴いただき、心から感謝しております。



『日本とインドの似ているところ』

コマンドゥリ シリーシャ（インド）

私はインドから日本に 17 年前来しました。今日はインドと日本の文化の似ているところについて、話したいと思います。

まずは日本のサービスです。100 円のものを買っても、100 万円のものを買っても、店員さんは同じサービスをていこうします。デパートで 10 時に行ったら、店員さんが、90 度のお辞儀をします。まるで私は女王様の感じがしました。このおもてなしの考え方はインドからきていると私は思います。インドのサンスクリット語では、「atithi dero bhave」の言葉があります。この意味は全く同じです。お客様が神様です。

また、「世話」という言葉が日本語でもありますが、インドにも「Seva」という言葉があります。「世話＝Seva」は本当に同じ意味です。こんな同じところを見て、私は本当に驚きました。

二つめは、日本はどうしてこんなに平和な国なのか、について話したいと思います。昔インドでは偉大なる王ラマが支配しました。インドを支配したとき、ラマ時代では誰でも鍵をかけなくても、平和に住むことができました。これを今の日本ですと同じことを見ることができ、とっても嬉しいです。まさにラマの時代そのものだと思います。日本は私の第二の故郷になりました。いろいろなことが似ている所をみて、とても驚きました。

インドの神々は日本にもいます。〇〇天は、インドから日本に来た神ということを理解してください。例えば、大黒天、弁財天、毘沙門天。天が付くものはみんなインドから日本に来ました。

最後に、こんなに平和な国に住むことができ、私は本当にうれしいです。心から感謝しています。



『日本の未来を守るには』

ゲイン キエラン（イギリス）

ゲイン キエランと申します。今日私は日本の未来を守る為についてお話します。

日本は色々な基準で世界で一番成功している国の一つだと思います。その例としては平均寿命、国の治安、平等性、教育レベル、健康管理等。それらの基準において日本は世界一又は世界一に近いです。なぜでしょうか？

原因の一つは日本でのコミュニティ意識が高いからだと思っています。日本でのコミュニティには様々な種類があります。国としてのコミュニティ、そして地域、町、家族、会社等。日本人はコミュニティ意識が高く自分の為だけではなく各コミュニティの為に働いています。他の国の国民にコミュニティ意識がないとは言っていないですが、日本人は特に意識が高いと思います。

この特別な国日本を守らないといけませんが、コミュニティ意識だけでは足りません。世界がどんどん変わってきています。それにそのスピードがどんどん早くなっています。もちろん日本も同じスピードで進化しないといけないのですが、大きな問題があります。それは言語です。なぜ言語が問題かという大切な情報の多くは英語でしか書いていないからです。

Wikipedia によると Internet の 54.4%英語で、日本はわずか 3.4%です。計算すると英語の情報量は日本語の 16 倍です。特に最新の情報は日本語で書かれていません。場合によっては一年待たないと日本語版が出てこないのです。

その例の一つは。地球温暖化の危機についての情報です。今年 IPCC というグローバル組織が大切なレポートを発表しましたが、まだ日本語化されていなく、日本ではあまり話題になっていません。

従って日本の未来を守るには英語も必要だと思っています。英語を読むことができれば自分で世界の情報を手に入れることが出来ます。その情報を生かすと日本の未来を守ることが出来ると思っています。みなさん、英語を頑張ってください！